



しろしたこうさく

城下広作県政報告誌

県民の身近な代弁者

2020年 6月発行

県民の身近な代弁者

熊本県議員



熊本市第1選挙区選出
(中央区・東区・北区)

熊本県議会

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2645/Fax.096-385-9767

第94号

ご挨拶



コロナ禍において、新しい生活様式が求められる私たちの日常生活ですが、何としても新型コロナウイルスによる感染は避けなければなりません。そのためには、手洗いやうがい、「3つの密」を避けるなどの基本的動作を徹底するしかありません。県議会では6月議会が開催され、本来であれば知事選挙後最初の議会は、知事の4年間を見据えた方針や今年度の骨格予算を審議する場ですが、コロナ関連補正予算等の審議が中心となり、質問者も各派代表による形式で、私は会派を代表し国が予算化したコロナ対策費の適切な運用等について質問に立ちました。今後も県民の声を更に届けて参ります。

県議会議員(会派公明党)城下広作

●熊本地震による(6月25日現在)仮設住宅への入居状況

建設型 仮設住宅	224戸 (617人)
借り上げ型 みなし仮設	383戸 (996人)
公営住宅 など	8戸 (19人)

コロナ禍における6月の主な活動を紹介します!!

食品加工業者の視察



6月9日、宇土市にある(有)フーズ・ジョイを視察。同社は、馬肉を中心とする食品加工専門会社で、お土産店や食料品店への出店が多く、コロナの影響で売上げが減少している中、国の制度を活用し経営の立て直しに必死に取り組まれていた。

拉致被害者救出の署名



6月13日、熊本市アーケード内で拉致被害者救出の署名活動が行われました。この活動は毎年、拉致被害者である「松木薫」さんの誕生日の日に行われ、私も県議会の「拉致被害者救出議連」のメンバーとして署名の手伝いをしました。

白川護岸改修を視察



6月22日、今年1月に完成した白川護岸(龍神橋上流付近)の現場視察を行いました。護岸改修以前この辺りは、住宅が立ち並び過去の白川大水害や九州北部豪雨災害時には一部浸水がありましたが、その不安も解決しそうです。

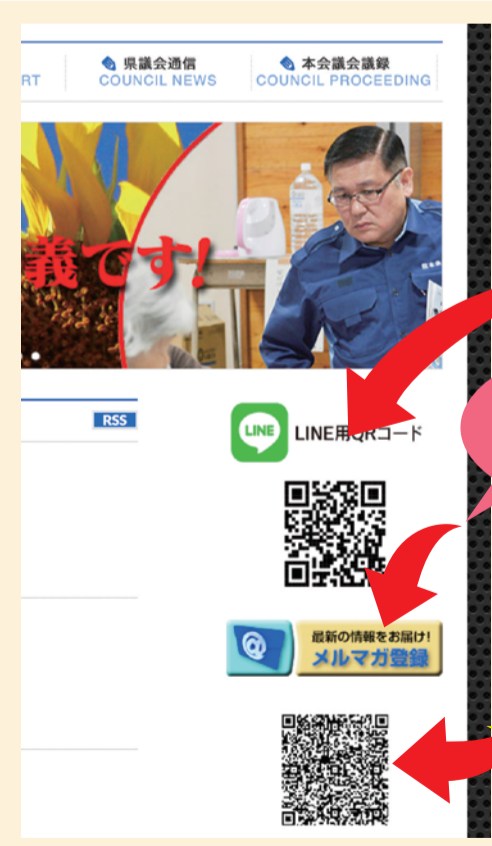
天草市本渡大橋の視察



6月24日、天草市港町漁港付近で、熊本天草幹線道路の一部である本渡大橋の現場視察を行いました。この日は、県天草振興局から土木部長も同行され、私と天草市議会の赤木武男・五通俊作両議員と進捗状況を伺いました。

PROFILE

- 昭和34年4月8日生まれ
- 熊本県天草市魚貴町出身
- 1978年熊本県立牛深高等学校卒業
- 1979年九州測量専門学校卒業
- 測量士・温泉入浴指導員
- 1999年 県議会初当選。連続6期当選
- 公明党 熊本県本部代表
- 議会運営委員会
- 県 元監査委員
- 熊本県立牛深高等学校同窓会顧問
- 九州測量専門学校顧問
- 熊本県行政書士政治連盟顧問
- 熊本県土地家屋調査士政治連盟顧問
- 熊本県環境整備事業協同組合顧問
- 熊本県清掃事業協議会顧問



▼ラインから
LINEステップによる
ダイレクトメッセージの
登録は下記QRコードで。
●LINE用QRコード



メルマガ登録
ボタンを
クリック。

QRコードを
読み取って、空メール
を送ってください。



城下こうさくメルマガ登録開始!

●「城下こうさくメルマガ登録」の方法

▼空メールから

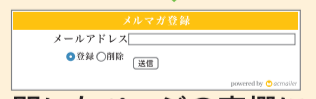


QRコードを読み取って、
記載されたアドレスに空
メールを送ってください。

▼ホームページから



城下こうさくホームページ
の「メルマガ登録」ボタンを
クリック。



開いたページの空欄に、
メールアドレスを記入して、
送信をクリックして下さい。

●ホットライン《お気軽にご相談ください。》

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/> ●メール info@shiroshita-kousaku.net



令和2年6月定例会 城下広作議員 一般質問の答弁要旨

① 質問1

熊本空港へのアクセスと周辺整備に係る取組について

- (1) アクセスルートの選定期等について
- (2) 空港周辺の新たな産業集積と企業誘致について

① 答弁の要旨(蒲島郁夫県知事)

- (1) 起点の三里木駅は、豊肥本線と平行接続するホームで対面乗換えとする。県民総合運動公園付近に高架の中間駅を設け、空港への登り口はトンネルとし、空港駅は新ターミナルビル隣接の高架駅とする。ルート決定は、継続調査の結果等を見極め、今後、事業化の判断をした場合に、環境アセスメント等を進める中で決定していく。
- (2) 新たな産業集積等はコロナ禍の影響により、都市部から地方への人や企業の流れ、生産拠点の国内回帰の考えが生まれ、地方の魅力、価値が高まると考えており、熊本の強みを生かし更なる可能性にチャレンジしていく。

② 質問2

コロナ禍における本県のこれまでの対応と今後の対策について

- (1) これまでの対応の評価について
- (2) 第2波、第3波を見据えた対策について
- (3) 感染者等に対する偏見・誹謗中傷への対策について

② 答弁の要旨(蒲島郁夫県知事)

- (1) 3月の段階で、無症状の方をPCR検査の対象とするなど、一歩先に行く柔軟かつ適切な取組などにより、感染拡大を最大限抑え込むことができた。
- (2) 第2波、第3波へ向けて、県独自のチェックリストの活用を徹底するなど防ぐ対策と、県内4圏域にPCR検査センターを設置するなどの備える対策に取り組む。
- (3) 感染者等への偏見・誹謗中傷を防止するため、新聞、テレビ、ホームページ等による広報・啓発等に継続して取り組む。

③ 質問3

コロナ禍における企業等への支援及び海外戦略について

- (1) 様々な支援制度の活用状況と円滑利用のための対応について
- (2) 県内企業への影響調査と今後の支援について
- (3) 八代港のクルーズ船の寄港予定等と今後のインバウンド戦略について

③ 答弁の要旨(蒲島郁夫県知事)

- (1) 国・県の支援制度を円滑に活用いただくため、相談窓口の商工団体の体制強化やアドバイザー派遣を実施し、県内各地で延べ26回の説明会を実施してきた。今後も関係機関と連携し、支援制度の活用が進むよう取り組む。
- (2) 経済団体や飲食店組合等との意見交換会で直接状況を伺い、国への要望や県での事業化を行ってきた。引き続き、調査や意見交換を継続し、影響を見極めながら必要な施策に取り組む。
- (3) 八代港へのクルーズ船の寄港は、国内外で感染症が収束し、国が入国制限などを解除するまで困難と考える。インバウンドは当面厳しいが、県内経済の活性化に極めて重要であり、まず県内旅行を促進し、国内、そして海外からの誘客という流れを考え、反転攻勢期に備える。

熊本県議会インターネット中継は、こちらのQRコードから



④ 質問4

コロナ禍における社会的弱者への配慮の取組について

④ 答弁の要旨(蒲島郁夫県知事)

新型コロナウイルス感染症によって、一番初めに、そして大きな影響を受ける高齢者や障がい者、ひとり親家庭や生活困窮者、外国人など社会的に弱い立場にある方々に対し、その特性に応じた情報提供や要望をしっかりと取り込む必要があり、これまで相談体制の充実など図り、今定例会にも支援のための予算を提案している。社会的に弱い立場にある方に寄り添った、きめ細かな取組を進める。

⑤ 質問5

コロナ禍における公共事業、災害対応、国土強靱化への影響と対策について

- (1) 公共事業における今後の対策について
- (2) 避難所における感染症対策について
- (3) 熊本県国土強靱化地域計画の見直しについて

⑤ 答弁の要旨(蒲島郁夫県知事)

- (1) コロナ禍における公共工事については、国が策定した建設業界に対する感染症予防対策ガイドラインに示される、きめ細かな対策を事業者徹底し、公共事業に影響を及ぼさないよう取り組む。
- (2) 避難所での飛沫感染防止には、段ボールベッドやパーテーション等が有効であり、市町村に対し、これらの物資等の備蓄や迅速に調達できる体制づくりを働きかけている。先月、益城町で実施された避難所運営訓練等のノウハウを市町村に広く共有し、市町村を支援する。
- (3) 現在の熊本県国土強靱化地域計画については、新型コロナウイルス感染症への対応は含まれていないため、避難所における感染症対策を反映するなど、計画の見直しを行っていく。

⑥ 質問6

コロナ禍における教育行政の児童生徒への対応について

- (1) 児童・生徒の心のケアについて
- (2) 休校により不足する授業日数の確保について
- (3) 部活動の発表の場の在り方について

⑥ 答弁の要旨(古閑陽一教育長)

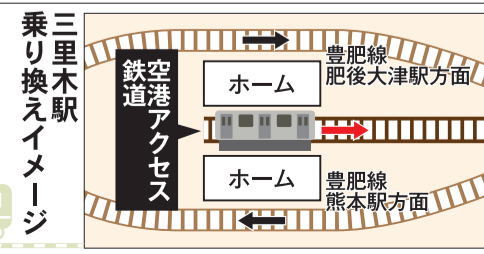
- (1) 学校再開後の相談状況は、計32件で、3密の回避策や風邪症状の場合の登校に関するものである。今月中に全公立学校で、心身の状況や不安や悩み等について調査することとしている。また、現在、感染症を巡る児童生徒間の偏見や差別の報告はないが、今後もスクールカウンセラー等とも連携し、児童生徒の不安解消、差別等の未然防止に取り組む。
- (2) 臨時休校に伴う授業日数不足については、概ね30日程度の不足があり、夏季休業の短縮をはじめ、学校行事の精選等の方針を示している。例えば、夏季休業については、およそ20日間の短縮となる。
- (3) 部活動の発表の場については、県高体連等において、競技種目ごとに代替大会の可否の検討がなされており、高校総体の通常開催は、3密を避けることが困難な種目があることから難しいと判断されている。代替大会の結果、一部の競技では公認記録とされ、文部科学大臣特別賞等の授与も検討している。開催に当たっては感染防止に万全を期す。

三里木駅 対面乗り換え アクセス鉄道計画 熊本空港は高架に



熊本空港までの鉄道延伸が計画されているJR三里木駅
11月15日、菊陽町(丁将広)

蒲島郁夫知事は15日、熊本空港(益城町)とJR三里木駅(菊陽町)を結ぶ空港アクセス鉄道計画(全長約10キロ)について、2019年度の調査結果を踏まえた全3駅(中間駅含む)の整備案を明らかにした。三里木駅は豊肥線との対面乗り換えを可能にするため、ホームを増設。空港の新駅はターミナルビル近くに高架



2020年06月16日付朝刊1面 熊本日日新聞

同日の県議会一般質問で公明党議員の城下広作氏(熊本市1区)への答弁。蒲島知事は「三里木駅は対面乗り換えの利便性を確保した。中間駅の設置場所は、運動公園と県免許センターの双方の利用者にとって利便な位置を検討している」と述べた。

県のアクセス鉄道整備案は総事業費437億561億円(税別)で、概算時点から57億〜181億円膨らんでいる。新型コロナウイルスの影響で空港利用者も激減しており、蒲島知事は本年度内に有識者らの検討委員会を開いて慎重に検討を進める方針だが、計画の中断や凍結はないとしている。(野方信助)